

Title	語文 第71輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1998, 71
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68939
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

集 後 記

編

ことがあるかもしれないが、『語文』の発展のために、盛んな投稿 投稿が多いのはうれしいことだ。今後も、掲載を待っていただく ならず、また教官の分もある。結局、一編は次号にまわさざるを さらに、あきがあるかとの問い合わせが二件あった。 えなかった。掲載が遅くなるのは大変申し訳ないのだが、やはり 現在、院生の数が多くなり、なるべくそちらの論文も載せねば 本号には、卒業生からの投稿が多かった。三編の投稿があり、

る。当研究室でも、来年の国語国文学会に田中先生をお招きし、 の記念すべき年にあたり、現在文学部で盛んな企画が行われてい 前号第七十輯は、文学部創立五十周年記念特輯号であった。こ

をお願いしたい。

御出席と御協力をお願いする次第である。

(渡邉志津子)

振り返り、さらに将来を考えるよい機会としたい。多くの会員の 学部を知っておられる方は少ない。貴重なお話を聴いて、過去を 創設の頃のお話などをしていただくことになった。五十年前の文

> 平成十(1九八)年十月三十一日 発行

平成十(二九八)年十月二十五日

印刷

語文

第七十一輯

大阪大学国語国文学会

-- 560-8532 大阪大学文学部国語学国文学研究室 大阪府豊中市待兼山町一―五

振替口座〇〇九四〇—四—二四六四一 〇六一八五〇一五一一一

代表 後藤昭雄

(平成十一年一月一日より 〇六一六八五〇一五一一一)

天理時報社